

第 一 次 選 定 会 議 記 録

会 議 名 称		杉並区魅力発信事業業務受託者候補者選定会議（第１回）
日 時		令和８年４月１７日（金）１５時００分から１６時００分まで
場 所		杉並区産業振興センター ２階 会議室
出席者	委員名	杉並区産業振興センター所長： 齊藤 俊朗 杉並区総務部広報課長： 宮崎 敬司 区民生活部文化・交流課長： 渡邊 淳之介 都市整備部都市企画担当課長： 中谷 友哉 都市整備部鉄道立体担当課長： 塚田 千賀子
	事務局職員	杉並区産業振興センター次長： 細谷 裕史 杉並区産業振興センター観光係長： 藤崎 浩二 杉並区産業振興センター観光主査： 岡崎 友香 杉並区産業振興センター観光係： 南木 恒平 杉並区産業振興センター観光係： 片桐 宏揮
配布資料	（１）資料① 令和８年度杉並区魅力発信事業業務受託者候補者選定会議委員名簿 （２）資料② 杉並区委託事業プロポーザル実施取扱要綱 （３）資料③ 杉並区魅力発信事業業務受託者候補者選定会議設置要領 （４）資料④ 杉並区魅力発信事業業務公募型プロポーザル実施要領（案） （５）資料⑤ 審査基準（案） （６）資料⑥ 第一次及び第二次審査表（案） （７）参考資料 利害関係確認チェックシート	
次会第議	１ 事務局説明 ２ 会長職務代理者の指名について ３ 実施要領（案）について ４ 評価基準・審査方法等について ５ 今後のスケジュール（予定）	

会長は、設置要領第5条1項の規定により、産業振興センター所長の旨説明した。
設置要綱第5条3項の規定により、会長の職務代理者を文化・交流課長に指名した。
事務局から実施要領（案）、審査基準（案）、今後のスケジュールについて、説明を行った。

○質疑応答

・審査基準（案）における「企画提案の妥当性」について、一部の審査項目の配点の考え方に関する質問があった。これに対し、当該配点は「ひらやすみ」を活用し、杉並区の魅力発信につなげることを目的として設定したものである旨の説明があった。

○主な意見

・審査基準（案）の一部審査項目について、表現が分かりにくいとの意見があり、より分かりやすい記載とするよう修正を求める意見があった。

・杉並区の魅力発信を重視する観点から、審査基準（案）における一部項目の配点について、再検討を求める意見があった。

各委員からの意見および質疑を踏まえ、審査基準（案）については、審査内容の表現および配点の一部を修正することとし、選定委員全員の了承を得た。

今後のスケジュール

事務局から、審査の日程について説明を行った。

第 二 次 選 定 会 議 記 録

会 議 名 称		杉並区魅力発信事業業務受託者候補者選定会議（第二次審査）
日 時		令和８年７月１５日（水）１４時３０分から１６時３０分まで
場 所		杉並区産業振興センター ２階 会議室
出席者	委 員 名	産業振興センター所長： 齊藤 俊朗 総務部広報課長： 宮崎 敬司 区民生活部文化・交流課長： 渡邊 淳之介 都市整備部都市企画担当課長： 中谷 友哉 都市整備部鉄道立体担当課長： 塚田 千賀子
	事務局職員	杉並区産業振興センター次長： 細谷 祐史 杉並区産業振興センター観光係長： 藤崎 浩二 杉並区産業振興センター観光主査： 岡崎 友香 杉並区産業振興センター観光係： 田中 総一郎
	オブザーバー	株式会社小学館集英社プロダクション
配布資料	(１) 資料① 第一次審査結果集計表 (２) 資料② 第二次審査の進行について (３) 資料③ 第二次審査評価表 (４) 資料④ 審査基準 (５) 資料⑤ 第二次審査の進め方、事務局共通質問事項 (６) 参考資料 提案事業概要及び質問事項まとめ	
次会議	１ 第二次審査の進行について ２ プレゼンテーション・ヒアリング・採点 ３ 休憩 ４ 審査 ５ その他	
冒頭	・事務局より、本日の進め方、第一次審査の結果、第二次審査の進め方について説明を行った。 ・本日、プレゼンテーション、質疑応答を行い、第一次審査及び第二次審査の各委員の採点結果をもとに本選定会議の受託者候補者を選定する旨、説明を行った。 ・事業者のプレゼンテーションに対し、質疑応答、審査を行った。	

○事務局からの共通質問

- ① 企画提案書に記載のある類似業務の請負実績から、本業務に活用できると考える点は何か。
- ② 杉並区の観光分野における特性をどのように考え企画提案をしているか。
- ③ 観光資源の選定理由とその活用方法は何か。
- ④ 連携相手とどの様に連携していくか。
- ⑤ 実際の来街行動につなげるための情報発信の手法と情報発信に関する強みは何か。
- ⑥ 「ひらやすみ」の活用方法を含む、イベントの特徴とねらいは何か。
- ⑦ 目標の設定根拠及び達成の見込みと効果検証をどのように行い今後活用できると考えているか。
- ⑧ 業務のスケジュールに関する懸念点及び業務実施するにあたっての体制をどのように考えているか。

1 (1) A事業者へ事務局からの共通質問に対する回答

- ① 阿佐ヶ谷駅前でイベントを開催した実績があり、本業務に活用できる。
- ② 「ひらやすみの暮らし」が魅力と捉え、地域の人々の目線でも観光資源を紹介するよう考えた。
- ③ 原作でも登場する場面と関連して園芸関係をひとつ区の魅力として考えている。
- ④ まちづくりイベントをしている地域の会社と連携して業務実施していく。
- ⑤ 食に関心が高いフォロワーに対し効果的に情報を発信していく。
- ⑥ マップやイベント時でのフォトスポットなどで「ひらやすみ」キャラクターを活用していく。
- ⑦ まちづくりイベントを基に目標設定した。デジタルマップを継続運用していく可能性も考えられる。
- ⑧ 「ひらやすみ」の素材の提供時期が懸念点。業務遂行体制は協賛会社含め全体で対応していく。

(2) 事務局からの追加質問

- ・「ひらやすみ」の活用に当たり、有料施設の誘導、有料施設のみの特典は不可となるが問題ないか。

→その認識で企画提案している。

(3) 選定委員からの個別質問

- ・西武新宿線や京王井の頭線周辺の魅力はどのように発信するように考えているか。

→「ひらやすみ」と関係がないエリアはデジタルマップには入れられなかったが、イベントで配布する紙媒体にエリアの情報を掲載する。また、ウェブページでの記事配信でも魅力を発信していく。

- ・西武新宿線や京王井の頭線周辺での周遊施策を盛り込むことも可能なのか。

→有料店舗の紹介が難しいこともあり、現時点では中央線以外の周遊が可能とは言えないが検討したい。

- ・事業の趣旨を踏まえると中央線以外のエリアへの誘客も必要と考えるが、何か工夫は考えられるか。

→スタンプラリーに含めたい気持ちはあったが、デジタルマップは登録エリアが限定されるため現時点では含めていない。今後紙マップを中心に調整は可能だと考えている。

- ・デジタルマップと紙マップにはそれぞれ異なる情報が掲載され、併用するという想定か。予算等の制約がある中、例えばマップはデジタルのみに集約することも考えられるのか。

→完全に同じ情報が載るわけではない。まちのイベントでは紙媒体の需要が高いため併用を考えている。
3地域をデジタルマップに含めるとなると複数のマップを運用する必要があるかもしれないが検討の余地はある。

・提案に料理イベントがあるが、性質上参加者が少なくなる中、どのように区の魅力を発信するか。

→区外来街者を対象としたイベントとして考えており、参加者が発信者となることで魅力を発信する。
参加者には食材の買い物をするためまちを歩いてもらいより深い体験をしてもらうイベントにする。

・提案にある編集会議は具体的にどのようなイメージをもっているか。

→編集会議で発信する内容を決め、取材した記事をウェブページや紙マップに掲載していく。

・1 DAY イベントは1日に限らず期間を増やす余地はないのか。

→現状では予算の問題から1日のみとしているが、今後の相談次第では検討の余地はある。

・予算がネックになるのであれば、イベントに注力して厚みを持たせるなども考えられるか。

→選定された場合には検討する。

・紙媒体で実施予定となっているクイズラリーはどのような内容を考えているか。

→「ひらやすみ」に関する内容だと限られるため、杉並区に関する内容を想定している。

・料理イベントと「ひらやすみ」の関係性はどのようなものになるのか。

→作中には料理シーンが多く登場する。作品に登場する料理を作るということではないが、料理イベントを通じて「ひらやすみの暮らし」に共感を持ち、まちの魅力を感じてもらうことを考えている。

【オブザーバーの意見】

- ・懸念点としてあったアニメ素材については、放送が2027年の1月開始となり、放送された素材を利用していくことになるため実施時期は注意が必要。
- ・原作とアニメは権利が別の扱いとなるため素材の混在は難しい。
- ・有料施設の取り扱いの確認が必要であるが、事業内で紹介自体が全く不可というわけではない。

【各委員の意見】

- ・「ひらやすみ」に関連して実施する区の他事業とのバッティングは今後整理する必要がある。
- ・事業者の「ひらやすみ」に関する日常の豊かさや地域の人々の暮らしといった要素は中央線以外のエリアにも繋がる良い捉え方だと感じた。
- ・予算の制約が大きい中で事業内容について選択と集中していくことも考えられる。
- ・効果測定として設定されている成果指標に適当でないものも含まれているので今後調整が必要。
- ・内容が明確でない部分があるが、今後の可能性とも考えられる。西武新宿線、京王井の頭線との接続や食という要素をうまく繋げていければ面白いのではと思う。

○審査結果

選定委員の合意の上、配点合計に対する評価点の合計が6割以上を取得したためA事業者を、受託者候補者として選定し、区へ報告した。（※審査結果は別紙の通り。）